



児童生徒の発達段階に応じた体験活動の推進

[今後の方向と目標]

子どもたちに、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うためには、家庭や地域との連携を図りながら、集団宿泊訓練やボランティア活動、自然体験活動などの豊かな体験を通して児童生徒の内面に根ざした創意工夫ある指導を行うことが重要である。

本県では、「自然学校」や「トライやる・ウィーク」などの体験活動に先進的に取り組み、児童生徒の発達段階に応じた体系的な体験活動を実施している。こうした取組において、集団活動や地域の大人たちとの交流、自然とのふれあいなどを通して、子どもたちに、規範意識、信頼感や自信などの自尊感情、他者への思いやりや感動する心など豊かな人間性をはぐくむ取組を一層推進する。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

環境体験事業……全公立小学校3年生を対象（平成21年度～）

県推進プログラム100：環境体験事業（小3）の全公立小学校での実施

自然学校……全公立小学校5年生を対象

県推進プログラム100：自然学校（小5）の全公立小学校での実施

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施……全公立中学校2年生を対象（再掲）

県推進プログラム100：「トライやる・ウィーク」（中2）の全公立中学校、中等教育学校、市立特別支援学校（中学部）での実施

高校生就業体験事業 - インターンシップ推進プラン - の実施

……全県立高等学校等の2年生中心から1年生にも拡大（再掲）

県推進プログラム100：高校生就業体験事業 - インターンシップ推進プラン - （高2）の全県立高等学校での実施

高校生地域貢献事業 - トライやる・ワーク - の実施

……全県立高等学校等の1年生中心から2年生にも拡大

県推進プログラム100：高校生地域貢献事業 - トライやる・ワーク - （高1）の全県立高等学校での実施

YU・らいふ・サポート事業……全県立特別支援学校を対象

障害児の自然体験活動推進事業……全公立の小・中学部を設置する特別支援学校を対象

[施策の取組]

子どもたちの発達段階に応じた体系的な体験活動を展開する。

[小学校]

- ・環境体験事業、自然学校：自然学校評価検証委員会の提言を踏まえ、環境体験事業と自然学校との系統的、継続的な学びの充実を図り、学校や地域の実情、創意工夫を生かした弾力的な実施に取り組む。

1 自立的に生きる力を培い、創造性を伸ばす教育に取り組みます

〔中学校〕

- ・地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」、地域に活かす「トライやる」アクション：「トライやる・ウィーク」評価検証委員会の提言を踏まえ、生徒一人一人の社会的自立に向けた取組を充実させるとともに、「『トライやる』アクション」の活性化を図り、人間関係づくりを基礎に、地域や社会の活動に積極的に参画する主体的な生徒の育成を図る。
- ・私立中学校社会体験活動推進事業費補助：他人を思いやる心を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」をはぐくむことをめざす。

〔高等学校〕

- ・高校生地域貢献事業 トライやる・ワーク：各学校が取り組んできた特色ある活動を、地域住民等との連携を進めることで、より地域に密着した取組として定着させる。
- ・高校生就業体験事業 インターンシップ推進プラン：県経営者協会、能力開発協会等の関係団体と連携しながら、事業所でのインターンシップの実施をめざす。
- ・高校生ふれあい育児体験事業、私立幼稚園高校生保育体験推進事業：高校生が、乳幼児とのふれ合いを通して乳幼児についての理解を深めるとともに、子育ての喜びや悩みを感じるにより、自分自身の生き方を考える契機とする。
- ・福祉教育：地域人材を活用し、地域の特色を活かした生徒の福祉活動の機会を設けるとともに、複数の教科や分野を関連させた多様な実践を推進する。

〔特別支援学校〕

- ・YU・らいふ・サポート事業：家庭及び地域社会等との連携や幼児児童生徒の障害に応じた対応により、一人一人の社会性を養うとともに、自立して社会参加する基盤となる「生きる力」を育成する。
- ・自然体験活動推進事業：自然体験活動を通して、集団の中での使命感や達成感、協力し助け合って生活する力を身に付けさせ、集団生活における基本的な生活習慣の向上を図る。

[これまでの主な取組]

環境体験事業

人間形成の基礎が培われる時期に、命の大切さを学ぶため、公立小学校3年生が年間3回程度地域の自然に出かけていき、地域の人々等の協力を得ながら、五感を使って自然にふれあう体験型環境学習を実施する。

自然学校

学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、全公立小学校5年生が、人や自然、地域社会とふれあうなど、様々な体験活動を通して「生きる力」を育成するため、長期宿泊体験活動を行う。

環境教育の充実

学校教育において環境教育を推進するため、指導資料の作成・活用や指導者養成に取り組むとともに、特色ある優れた実践を行っている学校をグリーンスクールとして表彰する。

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」(再掲 p.16)

地域に活かす「トライやる」アクション

休日や長期休業中等に、中学生が地域に貢献する活動や「トライやる・ウィーク」の活動を継続する取組を校区推進委員会の支援のもとに実施する。

南但馬自然学校の運営

豊かな自然での自然体験活動及び集団生活等を通して、自然、人及び地域とのふれあいを深める、こころ豊

(3) 自尊心や自律性など道徳性をはじめとした「豊かな心」の育成

かな青少年の育成を図ることを目的に、自然学校の場の提供、体験活動指導者研修の実施、自然学校等のプログラムの調査研究及び情報提供等を行う。

福祉教育の推進

地域の高齢者との日常的なかかわりや福祉施設の訪問などの交流やボランティア活動などの体験活動を通して、思いやりや充実感を体得し共に生きる力をはぐくむ。

高校生就業体験事業 - インターンシップ推進プラン～（再掲 p.16）

高校生地域貢献事業 - トライやる・ワーク -

全県立高等学校の1年生を中心とした、クラス単位によるボランティア活動、グループ単位による福祉活動等、学校独自の企画や複数校の共同企画による活動を支援する。

高校生・ふれあい育児体験

県立高等学校の生徒が保育所・幼稚園や子育て学習センター等を訪問し、保育所・幼稚園等の乳幼児と直接ふれあう体験を通して、子育ての大切さや子どもの成長発達に果たす親の役割、子育て支援等について学習する。

ひょうごユースセミナー（～H20）

子どもたちの個性や適性を十分に伸ばし、こころ豊かな人間形成を図るため、学校教育以外の分野で、多様な創造活動や集団活動、自然体験や勤労体験等ができる学習機会を提供する。

YU・らいふ・サポート事業

地域社会とのふれあいを通し、幼児児童生徒等が自立し、社会参加するための基盤となる「生きる力」と社会性の育成を図るとともに、特別支援教育への理解を推進する。

障害児の自然体験活動推進事業

自然とのふれあいや集団活動などの経験を通して、自立をめざした知識、技能、態度及び習慣を身に付けるとともに、豊かな心情や社会性を養う。

私立中学校社会体験活動推進事業費補助

地域に学び自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」をはぐくむことをめざし、私立中学生を対象に実施される様々な社会体験活動に対して補助する。

子ども農山漁村交流プロジェクトの推進

〔本県の取組〕

ア 国と共催した「子ども農山漁村交流プロジェクト推進セミナー」（H20.5.9神戸市内）の開催

イ 同プロジェクトの趣旨を踏まえた「農山漁村におけるふるさと生活推進校」の指定

（H20：10校、H21：8校）

ウ 同プロジェクト受入地域の整備

兵庫型「体験教育」の評価・検証（H22～）

各体験活動の接続やその在り方等について、外部委員による評価検証を行い、平成23年度以降における充実方策を検討する。